

記者発表資料	
発表先	石川県政記者クラブ

平成22年 5月26日

扱い 配布を持って解禁



出水期(6月15日～)を前に水防活動に必要な
技術の習得を行います
～水防工法技術研究会の開催～

日時 平成22年5月27日(木) 午前10時から午後3時まで

場所 川北町朝日地先 水辺の楽校西部拠点(手取川右岸 手取川大橋下流)

主催 手取川・梯川・石川海岸水防連絡会【石川県、小松市、白山市、能美市、加賀市、川北町、野々市町、北陸電力(株)、電源開発(株)、西日本旅客鉄道(株)、中日本高速道路(株)、金沢地方気象台、国土交通省金沢河川国道事務所】

参加機関 石川県内から26機関、約200名
・当日は水防専門家を招き、技術指導を受けながら実施します。

内容 ・縄結束、鉄線結束、土のう作りの基本的実技
・月の輪工、立てかご工、木流し工、シート張り工、牛柵工、積み土のう工の工法実技など
・家庭でも出来る簡易水防工法も紹介します。

※ 現地取材は、午後1時30分頃から2時30分頃の実戦的な水防作業を実施していますので写りがよろしいかと思えます。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

調査第一課長 森田 賢治

TEL : 076-264-9910 (直通)

実施目的

日本では毎年のように水害が発生しています。昨年7月には集中豪雨により土砂災害や洪水が発生し20人の尊い命が奪われたことも記憶に新しいところです。

一方、石川県内では、平成20年に金沢市内にてゲリラ豪雨による浅野川のはん濫をはじめ、平成18年7月豪雨では、梯川においてはん濫危険水位(3.6m)を大きく上回る4.91mを観測し、小松市内12町内8,558名に対して避難準備情報が出されるなど、水害に関する話題が絶えることがありません。

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会では、出水に対する備えとして、迅速かつ適確な水防技術の習得・研鑽及び水防知識・心構えの再認識を目的に「水防工法技術研究会」を実施するものです。



平成21年度の実施状況 「月の輪工」の作業状況

参考

・ 水防作業とは

水害を防ぎ、また被害を少なくするため、水防団等により実施される水防活動であり、古くから洪水により河川が越水や漏水などが見られた場合に、被災の原因・川の特長、地盤の状況にそれぞれ適した工法が考えられ受け継がれています。良く用いられる工法としては、川が越水するときに使用される「積み土のう工」、堤防に漏水が見られたときに使用される「月の輪工」、堤防が削られたときに使用される「シート張り工」「木流し工」「立てかご工」などがあります。